

## 平成29年4月度 定例自然観察会報告書

### 六甲山自然案内人の会

- ・実施日：平成29年4月8日（土）
- ・天気：午前中曇り、午後より雨
- ・担当：5班
- ・テーマ：春の山田道からトゥエンティクロスへ
- ・参加人員：ビジター10名 会員28名 合計38名
- ・当初予定コース：神鉄谷上駅～森林植物園正門～ヌケ谷～トゥエンティクロス～  
分水嶺越～学習の森前バス停  
※天候不順により午後からのヌケ谷以降を変更し、森林植物園内の観察とする。

- ・配布資料：ルートマップ 植生一覧表
- ・タイム：

9：30	班分け 挨拶 事前説明
9：45	出発
12：20	森林植物園正門 森林植物園内にて昼食
13：10	森林植物園内観察
14：30	森林植物園正門前バス停（解散）

#### ・概要

昨日からの雨が朝まで続き、出発前に雨がやみ、ようやく春めいた空気が漂い、心地よい風を受けながらの出発となる。

溪流の水嵩が増したせいか、せせらぎの音も心地良く、小鳥のさえずりを聴きながらの楽しい観察会となった。

天候不順により、ビジターさんは10名と少なく、当初4班に分かれていただく予定にしていたが、2班とし、それぞれの講師は1班—鳥居/友永会員、2班—津村/林会員でスタートとする。

階段を下りると、川を隔てた正面高台の桃が満開となっており「野に出れば 人みなやさし 桃の花（高野素十）」をもって、ビジターさんに体全体で春を感じてくださいと。

まずは、山野草の観察を開始。オオイヌノフグリ、ノボロギク、オランダミミナグサ、ヒメオドリコソウ、セイヨウカラシナ等を観察。

最初の橋を渡り、満開のコヒガンザクラ、サンシュユ等を観察。

登り始めた山道で、ヤブコウジ（十両）をネタに一両（アリドオシ）から億両（ミヤマシキミ）までを解説、上を見上げるとタムシバは満開。

しばらくすると道は平坦となり、ドングリの新芽、アオハダ、ウグイスカグラを観察し、道を遮る大きなクリの根で板根を説明、サネカズラを解説。

2度目の橋を渡り、クマシデ、クマノミズキ、ノグルミ等を観察し、イタビカズラを葉の形状をもとに解説。

急峻な下り階段と浮石に注意して沢を横切り、しばらくすると、水量の増した水音を響かせている有名な「三段の滝」を観賞。可愛いヒメカンスゲの花(写真1)、可憐なヒメウズの花(写真2)を観察。巨木のイタヤカエデを通り過ぎるとヤマコウバシ、コマユミ、ハナイカダ、ナナミノキ、メダケ、ヤブジラミ、アオキの群生、イワガネゼンマイ、クロモジ等を観察し、100年先を見据えた「神戸市の六甲山森林整備戦略」の概略を説明。森林植物園正門に到着、園内で昼食とする。

13時10分に午後のスタート。長谷池に向かって、アジサイ、イロハモミジ、ドウダンツツジ、カキドオシ、タカノツメ、ハナノキ/ミツマタ/レンギョウ/トサミズキの花等を観察しながら、森林植物園正門に戻る。

報告者 松本



